

<問い合わせ状況 2024年4月>



院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に5~10件程度の問い合わせに対応しています。4月の疑義照会は4件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認 (1件)
- 日数変更 (1件)
- その他 (2件)
 - ・処方箋の期限切れ
 - ・相互作用確認 (エンレスト[®]とバルサルタン)



薬に関する問い合わせ(患者・家族・施設より)

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。4月は問い合わせがありませんでした。

薬に関する問い合わせ(院内より)

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。記録してあるDI室への問い合わせは、4月は10件でした(病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります)。

◎が ついたものについては回答をDIニュース No. 461 に記載しています。

- クレメジン[®]を食前に投与して良いか? → 可。ただし、他の薬剤とは30分以上の間をあけること。
- ◎リクシアナ[®]錠を静脈血栓で使う時の用量、投与期間は?
- ◎リクシアナ[®]錠に初期投与量の設定がないのは何故か?
- ◎全身の痒みで外用剤を塗布している患者へリバスチグミンテープを貼るにはどうすれば良いか?
- パニマイシンのシミュレーションをしてほしい
 - シミュレーションソフトは無い。血清クレアチニン値より計算したクレアチンクリアランスから、100mg/回 1回/日が妥当と考える
- 市販のフェイタス[®]に含有されるフェルピナクの量が変わった(3.5%から5%へ増量)のは何故か?
 - 厚生労働省の定める市販薬基準含有量の基準が変更したことに伴い含量を増加した
- ビーフリードにエlemenミック注を混注できるか
 - 適応外となるため査定される可能性がある。
- ラゲブリオカプセルは脱カプセル可能か? → 可能
- ミノサイクリンは内服可能であれば注射が使用できない理由は? → 資料なしにて不明
- ヴィアレブ注の交換について → 病棟看護師業務も鑑みて回答

